

修了評価の方法

評価基準作成者： 崎山 賢士

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲</p> <ul style="list-style-type: none">・介護における尊厳の保持・自立視線・介護の基本・介護・福祉サービスの理解と医療との連携・介護におけるコミュニケーション技術・老化の理解・認知症の理解・障害の理解・こころとからだのしくみと生活支援技術 <p>2 出題形式</p> <ul style="list-style-type: none">・3～5肢択一形式、穴埋め形式、記述形式とする。 <p>3 出題数</p> <ul style="list-style-type: none">・ 択一問題 26 問（配点 10 点）、 全問正解：260 点満点・ 穴埋め問題 10 問（配点 10 点）、 全問正解：100 点満点・ 記述式問題 2 問（配点 20 点） 全問正解：40 点満点 合計 400 点 <p>4 合否判定基準</p> <ul style="list-style-type: none">・ 280 点以上 7 割以上の正解率 <p>5 不合格になったときの取扱い</p> <ul style="list-style-type: none">・結果発表後、直ちに 1 時間の補習のうえ再評価を行う。 なお、再評価に係る合格基準は 7 割以上とする。・再評価の不合格者には、修了評価者が直ちに個別指導を行い修了延期等の処置を行う。 ※基準に達するまで個別指導での補習を行い、再評価を行う。・再評価以降の個別指導での補習の料金は 1 時間 1,000 円とする。 ※現金で補習前に事務に納入することとする。
------------	---